

審議会等の会議結果報告

1. 会 議 名	平成 29 年度 第 5 回松阪市学校給食推進委員会
2. 開 催 日 時	平成 29 年 12 月 14 日（木）午後 2 時 00 分～午後 4 時 10 分
3. 開 催 場 所	松阪市学校給食センターベルランチ会議室
4. 出席者氏名	（委 員）◎馬場啓子、○中西信治、稲葉義彦、太田覚、 寺田英子、松本苑子、丸山竜平、垣本大、山本嘉、斎藤文可 （◎委員長 ○副委員長） （事務局）内山、高尾、横田、川口、水谷、久世
5. 公開及び非公開	公 開
6. 傍 聴 者 数	5 人
7. 担 当	松阪市教育委員会給食管理課 TFL 0598-61-1155 FAX 0598-28-7312 e-mail kyusyoku.div@city.matsusaka.mie.jp

協議事項

1. あいさつ
2. 協議事項
(1) 答申（案）について
3. その他

議事録（別紙）

平成29年度 第5回松阪市学校給食推進委員会 議事録

日 時 平成29年12月14日(木) 午後2時00分～4時10分

場 所 松阪市学校給食センターベルランチ2F会議室

参加者 委員14名中10名参加

事務局 内山課長・高尾所長・横田主幹・川口主幹・水谷・久世

傍聴人：5名

事務局 本日の推進委員会については、14名中10名の出席であるため、成立することを報告します。それでは、事項書に基づき進めさせていただきます。

1. あいさつ

委員長あいさつ

みなさま大変お忙しい中ありがとうございます。また、貴重なお時間をこの委員会のためにとっていただきありがとうございます。本日は答申に向けての取りまとめをお願いしたいと思っております。事前に配布した答申書案に対したくさんご意見を頂きました。ありがとうございました。皆様のご意見を盛り込んだ答申書になる様にしていきたいと思っております。限られた時間でございますが、より良い学校給食のあり方について協議していただき、忌憚のないご意見を頂きたいと思っております。

2. 協議事項

委員長 事項書に従いまして、答申案についてであります。少し時間がかかりますが、一つずつ確認しながら進めていきたいと思っております。「はじめに」事務局願います。

(事務局説明)

委員長 ありがとうございます。ここの部分についてご意見を願います。

委員 紙にまとめたものを持ってきました。説明させていただく。書かれている内容は、ごもつともなことであるが、委員会の中で社会情勢等は触れていないので、2段落目から4段落目までは、あってもなくてもいいのではないかと。それから、前回の諮問と答申があり、そこから今回の諮問があるので、その部分をはじめに触れた方がよいのではないかと。例えば、「平成24年度に今後の学校給食施設のあり方について諮問を受け、「安全・安心な給食供給及び食育の向上を目指した学校給食施設のあり方」について平成25年3月に答申した。その後新たな課題に・・・といった方がよいのではないかと考えている。

委員長 他の委員の方どうでしょうか。

事務局 新たな課題の前に前段の部分については、言われる通りだと思う。2段落目から4段落目までについては、あってもいいと思っている。

委員 この社会情勢の変化の部分だが、この委員会では触れられていないという事であるが、このような答申を書く上では、こういった文章は必要であると思う。

委員長 2点ございます。2段落目から4段落目までは不要である。新たな課題に対応する前の部分に前回の答申を受けてという部分を加える。賛否を取りたいと思っております。2段落目から4段落目まで割愛すべきである。という意見に賛同される方

は挙手をお願いします。

(挙手なし)

委員長 この部分は、このまま掲載しておくこととする。私も実際この部分に細かく触れたわけではないが、当然のことながら踏まえなければいけない。ことなので生かしていきたい。次に、新たな課題に対応する前の部分に前回の答申を受けてという部分を加える。ことについて・・・

委員 この意見を入れるのは、いいと思うが、このまま入れてしまうと意味が少し変わってくる場合があるので、字句修正はしていくという事で良いか。

委員長 当然ながら、このまま貼り付けるわけではなくて、前後の文章の流れを考慮し、委員長・副委員長・事務局の方で行うことを含め賛否を取りたい。ご賛同いただける委員は挙手をお願いします。

(挙手全員)

委員長 ありがとうございます。それではそのようにさせていただく。また、字句修正についてはお任せいただきたい。それでは、次に行きたいと思う。学校給食施設について、学校給食施設の現状について事務局をお願いします。

(事務局説明)

委員長 個々の部分について、意見を頂きたい。委員の方から出されているものについて説明をお願いします。

委員 この部分は、事前に意見を言わせていただいて反映してもらっている。さらに言わせていただく。「食中毒などの大きな事故がない」ということについては、委員会で議論しておらず資料もない為、とっていただくか、補足の資料で説明をした上で残すべきだと思う。もう1点、「配送の受け入れ施設を整備していく予定」については、資料などによる説明はなく、前回の答申から5年放置されおり未整備というのが現状である。

委員長 その点について事務局説明をお願いします。

事務局 「食中毒などの大きな事故がない」について、確かにここで議論されてはいないが、安全に現在まで給食を提供している部分についての表現である。

委員 この答申は誰が出すのかという事。事務局の思いは分かるが、資料で出すなりして、委員が納得すれば載せるのは構わないと思う。

委員長 どうでしょうか。ドライ運用により給食提供が出来ている。とします。もう1点について説明をお願いします。

事務局 予定になっているという部分については、今年度具体化してきているので、今動いていることを表現したかった。この委員会でその資料は出していない。しかし、現状とし全く動いていないわけではない。

委員 了解したいと思うが、本来今年度設計を行い来年度に建設するときいていたが、1年先送りになった。どんどん遅れていっている状況なので、最初に全体的な説明をしてもらえればよかったと思う。

委員長 進めていく中で、現状の中で進んでいるものと進んでいない部分の押さえをこの委員会の中でしていくべきだったと思う。委員指摘のとおり、動いていない部

分についても現状として記載すべきであると考えている。この2点についてですが、「食中毒などの大きな事故がない」については、割愛する。という事でよろしいか。異議はありますか。

(異議なし)

意義がないという事でこの部分を削除します。予定のところについてはどうですか。このまま生かしていくという事でよろしいか。異議はありますか。

(異議なし)

意義がないという事でこのまま生かします。続いて学校給食の課題について、事務局説明をお願いします。

(事務局説明)

委員長 課題は当初なかったのですが、意見を集約する中で出てきました。現状と含めた中での「現状と課題」とすることも考えられるため、そのことも含めてご意見を頂きたい。

委員 この部分については、私が出した意見です。「また、・・・」以降の部分について、何を課題にしているのかわからない。のが感想です。

委員長 わたしもここの単独調理場がどこの調理場を指すのかわからない部分があります。事務局どうですか。

事務局 これは、諮問の内容に記載していたものを引用している。諮問の中でこういった課題に触れていたので載せさせていただいた。伝わらないのであれば、文言の修正をお願いしたい。

委員長 市全体として課題はある。

委員 単独調理場ですが、表のとおり、ほとんどの施設は老朽化しているので、あてはまると思うが、児童生徒数の推移については、一部の調理場に関係があると思う。その辺りを含めた方が良い。

委員 「今後十分な・・・」の部分が分かりにくいと思う。この部分がはっきりすればよいと思う。設備更新がなど具体的にできればよい。

事務局 老朽化による施設設備の更新が限られた予算の中で、全ての施設に対応して十分対応できないということを含んでいる。

委員長 課題はあるが、今回の委員会でそこまでいかなかった。第1回にも児童生徒の推移を付けさせていただいた。単独調理場の生徒も減ってくる学校もあるので、その辺りも含めての諮問ではあった。しかし、十分議論はできなかった。

委員長 香肌小学校に単独調理場を整備する問題も含め、市内の単独調理場を見通したうえでの話となる。ここのところもう少し具体的な内容を添える。また、全体ではなく一部の単独調理場のことも含め修正をしていくということでもよろしいか。

(異議なし)

現状と課題を一つにするか、別々に表記するか。についてはいかがか。このように別々に表記することについてご異議はありますか。

(異議なし)

それでは、このような表記で行きたいと思う。続いて飯高管内の学校給食施設

のあり方についての協議内容について事務局願います。

(事務局説明)

委員長 この部分について、いかがでしょうか。

委員 「保温食缶を採用することで、適温での喫食も可能」について、資料や具体的な説明がなく可能か不可能かなどの議論はしていないため不要ではないか。また、「他の市内のセンター配送校と同じように配送できる」についても、具体的な資料はなく、委員会では「同じように配送できる」かについて判断できる材料はない。雨量規制の実績について、過去5年間で判断していいのか。また、雨量規制以外にも積雪や交通事故などの事象も検討しなくていいのか。前回答申時に比べてリスクが減ったとの判断には至っていないため、あえて表記すべきものではない。業者からの申し出があったことについては、「課題」の方に記述すべきではなか。配達回数の減少については、食材が減った為に回数が減ったのではないか。委員会で議論して懸念材料にはなっていない。地域からの要望については、要望内容についても簡単に記載すべきである。そうでないと、かはだ保育園の給食室の文章に繋がらない。また、意見・要望書は、委員会の議論の中で重要な要素であるため、答申書に添付すべきではなか。かはだ保育園の給食室(ウェットシステム)について、あえてウェットシステムと書く必要はあるのか。書くのであれば「提供可能な食数」や「耐震改良済み」なども表記すべきである。「必ずしも避難所に単独調理場を・・・」については、委員会で議論していない。前回の答申で防災施設と連携していくこととした内容から考えると正反対のことになっているのではないか。

委員長 数項目ありますので、順次いきたいと思う。その他の委員はどうですか。

(意見なし)

「保温食缶を採用することで、適温での喫食も可能」について、資料や具体的な説明がなく可能か不可能かなどの議論はなかったのではないか。また、「他の市内のセンター配送校と同じように配送できる」について、同じように配送ができるという判断について。

委員 この件については、第3回の委員会資料の中で確認されたと思っている。

委員長 実際、配送シュミレーションした結果を示していただいたと私も思っております。いかがでしょうか。大江中学校の事例も説明されております。しかし、それが望ましいか。望ましくないか。について議論はされていない。事実として出来るとなる。大量調理衛生管理マニュアルの中にも最低温度の規定もあり、それを守っているため、適温であると判断しているのではないのでしょうか。事務局どうですか。

事務局 委員会の中では、「冷めにくい」ことや「冷たいものは冷たく配食できている」といった説明になっていた。具体的なものとしては、ベルランチの11月後半にあった味噌汁の例です。配缶直後の表面温度は、73度あり、学校到着時に70度、子どもたちが配缶するときには、66度を確認している。衛生管理基準を守っていることから、適温と説明していることを確認したい。和えものに関しても

配缶直後8度で子どもたちが配缶するときには10度であり、冷たいものは冷たく適温で運べることを確認をお願いしたい。

委員長 第3回の資料13ページの中に大量調理場衛生管理マニュアルがありますが、これに沿わないものは、学校給食として不適となる。これを守ることを前提としている。よろしいか。

委員 はい。

委員長 その他の委員はいかがですか。この部分について割愛すべきであるという意見の方は見えますか。ここの部分については、この文章の記載で問題ないというふうに捉えます。次に「5年間の雨量規制もなく・・・」について、リスクが減ったとの判断には至っていない。とのことで記載しなくてもよいのではないかと。とのことでしたが、事務局どうですか。

事務局 第3回の資料の中で、過去5年間の事例を基に大丈夫であることを確認したところである。

委員長 ここについて、他の委員はいかがですか。

委員 書いてもらっている内容は、資料のとおりで間違えているわけではない。これでもってリスクが減っているように読み取れる。そこまでは議論が煮詰まっていなのではなかつと思う。ですので書き方が何とかならないかと思う。書くのであれば、「今後このリスクについては、慎重に判断するべきである。」など別の表現があればと思う。

事務局 この部分については、前回答申内容にリスクが高いと有りました。それに対する実績について記載するものであり、決してリスクが無くなったわけではない。それよりも、過去5年間の実績としてはなかったことを確認してもらった。そのことを記載したものである。

委員長 文章中でも「配送できないリスクが存在するが、・・・」となっており、リスクが全くないという表記ではない。過去5年間の実情を述べているだけである。

委員 このぶんしょうの言い回しを逆にしてみてもどうか。

委員長 この意見について、どうですか。

(意見なし)

それでは、言い回しを前後逆にすることとします。次にいきます。業者からの申し出があったことについては、課題の方に記述するべきではないか。課題の方へ組み込むという形でご了解いただけますか。

(異議なし)

この部分は、課題の方へ組み込んでいきます。配送回数の減少についてはどうですか。事務局お願いします。

事務局 かはだ保育園が休園になった時に業者から、届ける箇所が減ったことにより、毎回は配達できない。週1回程度にしてほしいとの要望があった。肉等で配達が必要な場合があり、その時は来てもらえることのことであった為、1回加算して、週2回と表記している。

委員 配送されなくなるリスクではないのではないかと。5回から2回に減っているから

懸念されているわけではない。

事務局 そしたら課題に記載するということでよろしいか。

委員長 毎回発注書通りに届くのが本来であるが、食数が少ない為配送コストがかかることから、配達回数を減らしてほしいと業者より申し出があった。今は、週2回であるが、将来的に1回になるなど懸念はある。課題の方に盛り込んでよろしいか。盛り込んだ方がよいという委員は挙手をお願いします。

(挙手多数)

課題の方へ盛り込んでいくという事とする。続いて地域からの要望について、意見・要望書を答申書に添付することについて、ご意見を頂きたい。

事務局 意見・要望書の添付について、提出された事実や内容については、答申書の中で触れているので、資料としては考えていない。委員の皆さままで検討いただき決定していただければよいと思っている。

委員長 委員の皆様にお聞きする。提出された意見・要望書について、資料として添付するか否かをお願いします。

委員 要望書があったから議論があったのではないか。出さない理由はないと思う。話の流れもよくわかり、説明できるものであると思う。

事務局 意見・要望書に基づいて協議したことについては、少し違っていると認識している。協議の流れとしては、事務局と地域との懇談会や第2回の委員会に地域の方をお呼びして意見を聞いたことからだと思っている。あくまで意見・要望書が出てきたからという訳ではない。あとは委員の判断であると思う。

委員長 いかがですか。

委員 答申書の中に要望の記載はあるが、なかなか具体的なものではない。この委員会に香肌小学校の人が入っているわけではない。要望書というのは、意見を言ったという確かな証になるので、どうしても載せたくないという理由が理解できない。

委員 わたしも資料として付けていただければお願いしたい。

委員長 要望書を資料5として添付した方がよいという委員は挙手をお願いします。

(挙手多数)

それでは、意見・要望書については添付することとする。次に「災害時の炊き出し拠点、コミュニティ・スクールにおける食育の推進や地産地消の推進等における地域への調理場の整備の要望があった。」という要望内容の記載についてはどうですか。

委員 文章の流れを理解するために要望の中身を少し抜粋したらよいと思う。

委員 先ほど要望書の添付について賛成したが、意見・要望書の後に資料5参照等の記載により、中身をそちらで見ただけだと思う。だから要望書を添付するべきだと思う。

委員長 他にご意見はありますか。了解を頂いたようですので、意見・要望書の後に資料5参照等の記載により、内容が明確なものになるため、資料を添付しそのような形で記載することとする。続いてですが、ウェットシステムの記載について、事務局説明をお願いします。

事務局 これにつきましては、答申案のP1～P2に施設の一覧を載せているので、その関係で載せている。

委員長 衛生管理上望ましいのは、ドライシステムです。全てドライシステムにするためには、かなりの費用がかかります。かはだ保育園のシステムがこういったものか委員全員が認識するべきである。ここがドライシステムであれば、非常に望ましい施設と判断できる。ここの部分は、現実として踏まえていかなければいけない。そのため、ここで現状を示しているものである。いかがですか。

委員 かはだ保育園の食数はどの程度ですか。

事務局 かはだ保育園については、こども未来課の施設ですので把握していない。正確な食数は提示できない。

委員長 そのままの状態で使用できないと思うが、改修費はどの程度かかってくるのか。

事務局 概算となるが、第2回の資料で示している通りとなる。今の調理場と比べると狭くなる。

委員長 他の委員はどのように思いますか。

委員 委員長の言っているようにドライであるかウェットであるか大切な所だと感じる。その為この記載は必要だと思う。あと築年数等わかる範囲で記載したほうが良い。

委員長 記載できる範囲で記載した方が良いという委員の方は挙手をお願いします。

(挙手多数)

それでは、記載できる範囲で記載していきます。次に「必ずしも避難所に給食調理場・・・」といった内容は、議論していない。前回答申から比べて後退したものであり、記述は不要である。とのことであるが、このことについて事務局お願いする。

事務局 前回委員会時に防災の観点に違反しているとの意見がありましたが、避難所に給食施設が有った方が良いでしょう。市の防災としては、施設が有れば利用するが、なければ別の方法で対応することとなっている。このことについては、説明させていただいている認識です。

委員 慎重に検討するべきである。という書き方は、行政用語的にやらない方がいいんじゃないかという印象になってしまう。必ず必要ではないということだけなので、その所をどうしても進めるべきではない。少しニュアンスが違うように思う。防災面も含め総合的に勘案すべきである。また、防災部局と調整が必要なことである。などの言い方にならないのか。

事務局 言われるところは理解できます。今回は、給食施設をどうしていくかという話なので、防災部局を含めることはないと思う。施設設置については、必ず費用対効果が求められるため、その辺りも含め慎重に進めるべきであると思う。

委員 それは、市当局の意見になる。この委員会で財政面も含めて言っているわけではない。その立ち位置が少し違うのではないか。

委員長 他の委員の皆さまはどうですか

委員 これは、給食だけではなく、地理的にも離れているところにある。香肌地区の町づくりの意向も含まれたものである。避難所に必ず設置が必要ではない。だけで

はなく、災害時にあればよいと思う。学校も地域とつながっており、調理場があっても良いと思う。

委員長 文面をどうしていきましょうか。事務局としては、小学校は避難所であり保育園は避難所ではない。他にも避難所があるという事だと思いますが、事務局どうですか。

事務局 この部分については、議論されていたが、費用面を考えるべきであるかどうかについて、市全体で考える中では、財政面として慎重にいかない理想に沿って全て施設を作ることはできない。あればいいとは思いますが、必要なものを必要な所に設置するべきであり、安全防災面からは必要ではないものとなっている。文面としては、必ず設置が必要ではないが、地域のことを考慮して総合的に判断するなどはどうか。

委員長 文面の表現によっては、受ける印象も違ってくるので、もう少し必要でないという表現ではなく。そこも含めて地域のニーズを含めて表現するべきである。この辺りの表現の仕方を工夫してみてもどうか。

委員 こうすればどうか。「必ず避難所に給食調理場を設置する必要ではない」という文言ではじめ最後に「地域住民にとっても安心である。」というふうに入れ替えてみてどうか。補足的に香肌小学校の面積を調べた。松阪市の面積が 623 km²であり、香肌地区は 200 km²ある。33%を抑えている地域であり、そこに施設が有ってもいいのではないかと思う。今回は、単独調理場の問題ではあったが、香肌地域全体の課題にも繋がっているものである。

委員長 ここでは書き方を修正していく。続いて提言の方について事務局お願いする。
(事務局説明)

委員長 この部分についてどうですか。

委員 地域との協議が十分でなかったことを反省し、「提言①の地域や学校とともに協議」の前に「十分」と入れていただきたい。

委員長 この文言を追加するという事でよろしいか。
(異議なし)

それでは、十分を追加します。あと、これまで全て「幼児・児童生徒」と表現しているが、ここは、「児童生徒」となっている。児童を挿入するべきである。また、衛生基準を衛生管理基準に訂正するべきである。その他よろしいか。

(意見なし)

施設については、以上とする。続いて給食費について事務局お願いする。

(事務局説明)

委員長 ご意見はありますか。
(意見なし)

現状についてはこのままということで、次の課題を事務局お願いする。

(事務局説明)

委員長 課題については、いかがですか。
(意見なし)

意見無ということで、続きましてアンケート結果について事務局お願いします。

(事務局説明)

委員長 アンケート結果について、ご意見はありますか。1点アンケート実施日について、7月とありますが、平成29年を入れていただくと正確な時期が伝わるので、入れていただきたい。他の委員よろしいか。

(意見なし)

続きまして、給食費についての協議内容について事務局お願いします。

(事務局説明)

委員長 ここについて、ご意見ありますか。

委員 協議内容の5行目の「献立や食材の工夫が見える形で」とあるが、具体的にどのようなことなのか。試算の部分である程度わかるが、献立名で形にすることは難しい。質問があった時は、説明できるようにしておく。

委員長 もう少し具体的に表現するということがか

委員 見える形でどのように示せばよいか具体的にほしい。

委員長 例えば食材の種類が増えることや

事務局 値上げについての資料に試算のことを具体的に示し、4月以降の献立で実行していくという事が形という意図がある。わかりにくいのであれば表現を修正する。

委員 むね肉がもも肉になったり、品数が増えたりといった形で見えるのではないかと思う。

委員 ここで言う見える形というのは、保護者向けの資料の中で定期的に示していくことだと思う。

委員 献立表のスペースを利用できるのであれば、そこで表現してみてもどうか。放送委員が献立を読み上げることがある。その辺りで伝えれば良いのではないかと思う。

委員長 値段は上がったが、内容は変わらないではいけない。メニューがバラエティーになった。子どもたちがワクワクすることが増えた。など形に示してもらいたい。ただお昼を提供すだけではない。というところも含め、栄養教諭で努力していただく必要がある。いろいろな工夫をお願いしたい。そういったことも含めこの文言でよろしいか。他よろしいか。

委員 保護者が費用を負担しているので、保護者に伝わるようにしてほしい。給食のことは、あまり知らない方が多い。いろいろな機会に説明等あるといいと思う。

委員長 アンケート結果では81.2%となっており、協議結果では81%となっているのでそろえるべきである。14%についても14.5%と記入ください。続いて提言について事務局お願いします。

(事務局説明)

委員長 ご意見はありますか。

委員 4月から改定することとなれば、一年間の集金の金額であるとか新1年生に通知するので、早めに周知、啓発、説明をお願いしたい。

委員長 大変重要な所だと思う。提言②最後ですが、必要である。若しくは、望む。と

考えられるが、どうでしょうか。そのままでもよろしいか。

委員 提言の最後ですが、「保護者などの心身の健康意識の」と「の」が3回続くので修正が必要ではないか。「など」と最後の「の」が不要ではないか。また、保護者への説明は十分丁寧をお願いしたい。

委員長 提言については、この辺りでよろしいか。

(意見なし)

「おわりに」について事務局願います。

(事務局説明)

委員長 ご意見はありますか。

委員 基盤として・・・が基盤となる。という文章はおかしいので修正する必要がある。

委員長 ここについては、修正していく。目次について事務局願います。

(目次と資料-1について事務局説明)

委員 幼稚園長会会長と小中学校代表となっているが、統一した方が良いのでは。

委員 代表にそろえた方が良いのでは。栄養教諭についても同様

委員長 そろえていくという事で良いか。その他よろしいか。

委員 委員会の委が抜けているので修正をお願いします。

委員長 そのように訂正していく。他よろしいか。

(意見なし)

答申については、以上である。その他について事務局願います。

事務局 ご審議ありがとうございました。この後、委員長と副委員長に最終確認を頂き教育長の方に提出していただきます。予定としては、今月中にできればと思っている。給食費の関係については、値上げについて市長の決裁を受ける。その後、各学校やPTAへ文書でお知らせし、2月にPTAの会議で説明をさせていただき予定となる。また、個々の学校等で説明の依頼があればさせていただきことを考えている。3月広報でも掲載したいと思っている。

委員長 他に質問等ございますか。

委員 修正後の答申書は送ってもらえるのか。

委員 教育長に提出するまでには各委員に配布すべきである。

事務局 提出までに一式の写しを各委員に郵送させていただき予定である。願います。

委員長 よろしく願います。細部の修正・訂正等は、委員長と副委員長で対応させていただきという事で、了解いただきたいと思えます。最終版につきましては、提出前に郵送させていただきという事で確認ください。みなさまのご協力によりここまで来ることが出来た。引き続き課題となっていることもある。より良い子供たちの未来に向けて、基礎となる給食ですので、より安全で安心な提供が出来るように応援していきたいと思う。各委員それぞれの立場で、今後も関わって頂いたり、助言や指導をお願いします。5回にわたり推進員会ありがとうございました。

以上